

### 6月議会 総括質問 (坂本昌栄議員)

## 幅広い業種の経営悪化 支援策の方向性は

### 市長「感染防止と経済活動両立 国・県の制度と交付金の活用を図る」

鶴岡市議会6月定例会が9日開会され、日本共産党市議団を代表して坂本昌栄議員が、新型コロナウイルス感染症対策に関して①今後の長期的経済支援、②行財政改革に伴う職員削減の見直し、③学校の少人数学級制度、④医療体制、⑤地域経済と地域内循環型の自治体の構築について、総括質問を行いました。

### プレミアム飲食券 政策目的に疑問



問 プレミアム飲食券は市民から多くの苦情が寄せられた。飲食店へ直接的に支援するべきだったが、飲食店への支援なのか市民へのプレミアムなのか疑問が残る結果となった。

今後幅広い業種の経営悪化が懸念され、継続的支援が必要とされるが、今後の施策の方向性は。

市長 移動自粛解除後の経済活動の回復に期待する一方、感染拡大予防と経済活動の両立

### 職員削減で残業・休日出勤 見直しを

問 本市では行財政改革大綱、行財政改革推進プランに基づき改革を行ってきた。職員数は平成22年度の1324人から31年度で11

た結果、負担は増大し平日の残業に加え、土日返上して業務処理を行っている。

行財政改革の中心目的は人件費削減であり、市民サービスの維持向上との両立が懸念される。

今後予想される災害時の対応や市民サービスの向上のために、職員削減は見直すべきと考えられるか。

市長 新型コロナウイルス感染症対策も緊急の対策を講じながら、市民サービスが低下し

### 教員増やし、さらなる少人数学級を

問 行財政改革で「少子化に対応したより良い教育環境の構築」を目的とし学校統廃合を行なった。

合併の弊害で大規模化し、児童・生徒はスクールバスでの登下校が行われ、スクールバスでの3密を避けるため総合的判断の要因になったと推測する。

従来の学校で授業が出来ていたら、休校に至るまでの期間や経緯が違っていたのではな

新型コロナウイルス感染症対策や災害時等を想定し、教員を増やし、さらなる少人数学

ないようにし、延期・縮小になった部署や、地域庁舎と連携して緊急応援体制を組織し対応している。

1つの部署への業務集中を避け、計画的、効率的に業務を行えるよう配置に努める。

行政事務の簡素化、効率化により歳出削減を図ることが喫緊の課題と捉え、ICTの活用やPRAの導入による効率的、合理的な行政運営体制への転換を進めている。

今年度見直しには万一に備え、各部署や庁舎の応援・連携体制も念頭に置きながら、人員の適正化を進めていきたい。

級制度を推進するなど、柔軟な教育を検討し、子どもと向き合った心身のケアと学びの遅れを取り戻すべきと考えられるか。

### 病院収益減 医療体制の整備は

問 荘内病院では指定感染症の専門病床50床程(1入院棟)を確保しているが、その影響及び4月から5月の病床稼働率、事業収益の減額について伺う。

荘内病院での新型コロナウイルス感染者の受け入れ方針を経緯も含め伺う。

発熱外来施設やPCR

教育長 子どもたちは新型コロナウイルス感染症に対し、不安やストレスを抱えていることに加え、気温の上昇に伴って心身の疲労も予想される。

学校現場では児童生徒の心に丁寧寄り添い、これまで以上にきめ細やかな対応が必要と捉えている。

通常より短縮した時間割設定、必要に応じた個別面談等の実施、スクールカウンセラーを派遣するなどの支援対策を示している。

少人数学級編成は、国・県が定める標準を超えない範囲で行うもので、市独自の判断として学級増とすることは認められていない。

少人数学級編成は決め細やかな指導を行う上で効率的な制度であり、今後の「さんさんプラン」の継続及び拡大に関し県教育委員会へ要望していく。

R検査センター、抗体検査の早期実施に向けた体制作りが求められており、医療体制の在り方等検討すべき課題が多くある。

感染症対策への整備はどのように検討しているのか。病院事業管理者 庄内地域に数人の患者発生後、(2面につづく)

(1面のつづき)

4月8日に1入院棟50床を感染症専門病床として確保した。

病床稼働率は4月が約63%、5月は約61%、昨年同期と比べ約2割程度稼働率が下がっている。

外来患者数も前年度比で2ヵ月間、約4500人減少している。

2ヵ月間で入院・外来を合わせ前年度比で約3億円の減収見通しであり、国・県の空床

補償などの動向を見据え財源確保に努める。

感染者の受け入れは感染症法及び「行動要領」に基づき保健所が医療機関を指定し、入院誘導することとなっている。

日本海総合病院に感染症病床4床、同病院と荘内病院に専門病床を各50床程度確保するとされている。

県に新型コロナウイルス感染症患者受入調整本部が設置され、感染

のフェーズ毎に基本方針を定め、感染症患者

の症状や各施設の病床稼働状況を踏まえ入院調整を行っている。

救急外来に発熱外来を開設し、感染拡大防止のため工事を行っ

た。

病院で必要な検査が行えるようPCR検査装置や、感染予防対策に必要な医療機器等の整備、職員の帰宅困難時のホテル利用など準備を進めている。

### 地域循環型自治体 収束後のビジョンは

問 海外に依存した観光業は莫大な経済的ダメージを受けている。消費増税での倒産や廃業に加え、新型コ

ロナウイルスの影響で閉鎖した旅館も出ており、今後の状況次第では倒産が相次ぐと危惧される。

経済的被害は農業にも及んでおり、農産物の価格保障を中心に所得補償を一体化し、農業者が安心して暮らし続ける条件を広げるべきだ。

SDGsを推進し、地域内循環型の自治体を作るべきと考えるが、市長が描く収束後のビジョンについて見解を伺う。

市長 地方分権・地方主権・地方創生など「地方の時代」と言われたが、今後のリスク

を考慮すれば首都圏集中を地方に移転させる政策が求められる。これまでの効率性重視から持続可能性重視へ転換する動き、海外移転から地方回帰への変化を的確に取り入れ、地域循環がより強固となるよう取り組む。

本市では第二次総合計画で農業者の所得確保を重視した施策を推進している。

水田農業の収益性向上、園芸作物の作付拡大、「中山間地域等直接支払交付金」等を活用し、農業経営が共存できることが重要と考えている。

農業について総合的に施策を推進し、移住の受け皿としても振興を図る。

コロナに対応した「新しい生活様式」の中で、感染拡大防止と社会経済活動の両立・SDGsの住み続けられる持続可能なまちづくりを進めていく。

## 「バイトしていた店閉店」病院大赤字

### ふなやま予定候補と語り合う「由美カフェ」で切実な声



ふなやま比例予定候補(右端)

が実現した」と、糖の取り組みを報告し、社会保障の充実や学費の半額支援糖の施策の必要性を訴えました。

参加者も1人ずつ自己紹介し、仕事のことや家族、子育ての悩みなどを出し合いました。

「派遣切りにあって路上生活になったところを共産党議員に助けられた」「居酒屋でバイトしていたが、コロナで閉店することになった」「病院に勤務しているが大赤字だ。外来減れば入院も減る。国に対して診療報酬のアップを」「学校ではつめこみが始まるのか？修学旅行や運動会

・イベントの中止、最終学年の子が思い出に残るようなこと」と、切実な実態が語られました。

これに対し、ふなやま氏は「新型コロナウイルスを通じて、日本社会のひ

#### 建築課入札結果 ( ) 内は予定価格

- 6月4日入札分
  - ・小堅コミュニティセンター移転改修機械設備工事 (堅苔沢字淵ノ上334) (入札4業者うち2業者辞退)
  - 三和メイテック(株) 37,500,000円 (40,290,000円) 工期~12/18 (落札率93.08%)
  - ・小堅コミュニティセンター移転改修電気設備工事 (堅苔沢字淵ノ上334) (入札14業者)
  - (有)トラスト電建 29,750,000円 (30,780,000円) 工期~12/18 (落札率96.65%)
  - ・小堅コミュニティセンター移転改修工事 (堅苔沢字淵ノ上334) (入札18業者うち7業者辞退)
  - (株)石庄建設 119,500,000円 (120,100,000円) 工期~12/18 (落札率99.50%)
- 5月28日及び6月2日入札
  - ・市櫛引学校給食センター高圧受変電設備改修工事 (上山添字成田21-4) (入札15業者うち1業者辞退)
  - 荘内配電管工(株) 4,000,000円 (4,680,000円) 工期~8/28 (落札率85.47%)

#### 下水道課入札結果 ( ) 内は予定価格

- 6月5日入札分
  - ・市特定環境保全公共下水道事業汚水5084-1号新設工事 (堅苔沢地内) (入札10業者うち1業者辞退)
  - (株)五十嵐建業 2,150,000円 (2,206,000円) 工期~10/9 (落札率97.46%)
  - ・市集落排水事業 羽黒中央地区黒川100号ほか管路改良工事 (黒川ほか地内) 中止

#### 水道課入札結果 ( ) 内は予定価格

- 6月8日入札分
  - ・湯温海地内径200・100耗水道管路耐震化工事その2 (湯温海地内) (入札9業者うち2業者辞退)
  - 松田工業(株) 35,960,000円 (36,720,000円) 工期~3/1/29 (落札率97.93%)
  - ・湯温海地内径200・100耗水道管路耐震化工事その1 (湯温海地内) (入札10業者うち2業者辞退)
  - 森建設工業(株) 35,580,000円 (36,310,000円) 工期~3/1/29 (落札率97.99%)

ふなやま由美衆院東北比例予定候補と語り合う「由美カフェ」が6日開かれ、青年や子育て世代らが参加しました。梅木たけし3区候補、坂本、長谷川両市議も参加しました。

ふなやま氏は、「新型コロナウイルスの影響は、あらゆる職種に影響し、リーマンショックを超えるような悪化の状況になっている。共産党は現場の声を聴きながら国や自治体に緊急要望書を提出してきた。特別給付金も最初は貧困世帯にのみ30万の枠組みだったが、野党や国民の世論で一律10万